



保険薬局薬剤師へ：相澤病院でお勧めしている エスワン投与における点眼薬使用について

【エスワン服用で誘発される可能性がある **眼** の有害事象】

エスワンを服用することによって、『涙道の涙小管狭窄症』と『角膜上皮障害』などの眼に対する有害事象が報告されています。これらの有害事象により『流涙症』に陥ります。

症状としては下記のようなものがありますが、元々ドライアイの方は流涙症状が現れないこともあります。

涙があふれて
視界がぼやける



涙でメガネの
レンズがくもる



目やにが
たまりやすい



目の周りの皮膚が
ただれる

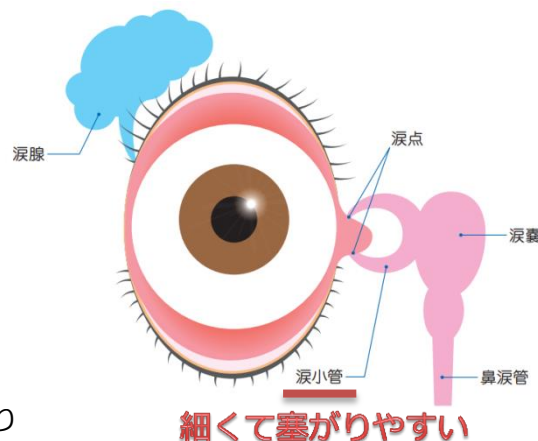


■流涙症を起こす機序

エスワンによる眼の有害事象についてはまだ十分には解明されていませんが下記のように考えられています。

涙小管障害 は、涙液へ移行したエスワン中成分が涙道壁に接することで、扁平上皮の肥厚と間質の繊維化をきたし、狭窄や閉塞を引き起こすことが推測されています。

角膜障害 の作用機序としては、投与されたエスワン中成分が涙液へ分泌・移行することによる角膜への直接的障害と推測されており、この直接的障害により潰瘍形成し、それが重症化すると失明しかねません。



■涙液について

涙液は、涙腺で作られ目の表面（角膜）をとおり、涙道（涙点⇒涙小管⇒涙嚢⇒鼻涙管）を通過して排出されます。涙小管はとても細く 1mm 程度なので、塞がりやすい場所です（上図）。

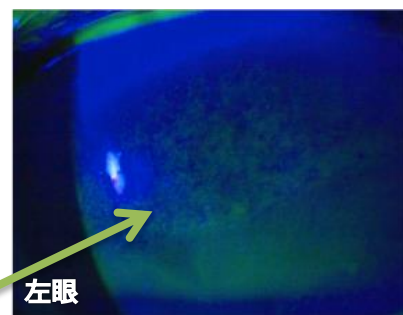
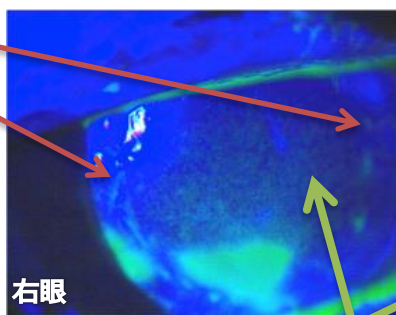
■有害事象発現時期

投与 1 週間後から 1 年半程度との既報がありますが、個人差も大きく一概にはいえません。

■当院での有害事象症例です（エスワン服用したが、眼科フォローをしていなかったところの事例）

73 歳男性、3 年前右眼に細菌・真菌性角膜潰瘍にて、角膜移植を受けた既往がある患者。胃癌多発リンパ節転移に対しエスワン単剤にて治療開始された。

3 ヶ月後の眼科受診時に縫合線に沿った角膜上皮障害がみられ、視力低下もあり角膜障害 Grade3 と診断されエスワン服用中止となった。このまま服用継続していたら移植部位が剥がれ見えなくなる可能性あり。中止 3 ヶ月後には視力は回復・角膜上皮障害も改善がみられた。



強く光っているところは潰瘍を起こしている。小さい点々は炎症を起こしている。

■ 当院での対策

眼科医との連携

エスワン処方

紹介状

エスワン開始予定の患者様です。
エスワンによる特徴的な眼症状
のリスクがありますため、貴科的に、
御高診、御加療お願いいたします。

- 基本的にはエスワン服用開始の際に眼科受診が開始となりますが、予約状況等でエスワン開始後の眼科受診となる場合もあります。
- 涙道が狭くなったり塞がってしまうと涙が排水されないため、眼から涙があふれ出てしまうので、患者さんの状態に応じて、眼科医による 涙道通水 といった処置が行われます。
- 治療変更等でエスワン中止しても中止後、1か月後まで眼科医のフォローが入ります。

眼科医がお勧めしている事項（患者さんがご自身ができること）

- 抗がん剤を 洗い流す目的 Wash outで点眼薬(人工涙液)を使用していただく。 **エスワン休薬中も実施する。**
絶対やらなければならないことではなく、あくまでお勧めしているということです。

点眼をきちんと実施したとしても、絶対に眼の障害が起きないということはないため、気になる症状がある場合は、早めに眼科受診することをお勧めします。

- 当院眼科では、下記2つのいずれかの人工涙液型点眼液使用をお伝えしています。選択ポイントとして

①防腐剤を含まない→防腐剤は角膜障害を悪化させる可能性があります。

②ヒアルロン酸など粘稠性のあるものは避ける

→粘稠性のある成分を含有している点眼液は角膜表面での滞留時間を延長させる可能性があり
抗がん剤が移行した涙液が留まることでの眼障害悪化がおきる可能性があります。



眼科医からのアドバイス

点眼回数ですが理想は6回（もしくはできるだけ沢山）なのですが、せめて3～4回と説明しても「え～そんなに？」と言われてしまうのが現実で、多い回数を伝えるほど「めんどくさいからいいか」と結局ゼロになってしまう感じがあります。なので、『洗浄回数が多いほど効果的』とお伝えください！

● 点眼方法

- ・ 通常、点眼薬は1回1滴（角膜を覆うのに充分量）ですが、洗い流すことが目的ですので、1回2～3滴（つまりはあふれ出るほど）を1日4～6回、もしくはそれ以上行っていただきます。
（洗浄回数が多いほど、効果的）
- ・ 眼をさわるので、必ず清潔な手で実施していただくようアドバイスお願いします。
- ・ 点眼後は 眼の周りに抗がん剤が移行した涙や点眼液が付着している可能性がありますので、皮膚に影響しないよう洗顔してください。その際、眼を上からごしごしこすらないようにしましょう。

● 保険薬局薬剤師へのお願い

- ・ 患者さんは、自費にて点眼薬を購入するため症状がないときに点眼する意図を軽くみている場合があります。また点眼液を用いても眼の障害がおきてしまうこともあります。しかしながら 癌治療継続という大事な目的のためにご自分でできることをやっていきましょう などお声掛けしていただけると助かります。
- ・ 早期発見が重要な事項となります。眼の症状について、気になることがないか患者さんに確認していただくことをお願いできればと思います。（「涙があふれてものが見えにくいとかございませんか？」「なんだか自然と涙がでるようになってしまったことはございませんか？」「目やニが多くなったりしていませんか？」など
- ・ 点眼薬の使用期限厳守、保管方法の指導、家族・同居者が使用しないようになどアドバイスお願いします。